

株式会社ファミリーマート 御中

ベトナム社会主義共和国
ホーチミン市における貧困区での
災害に強いコミュニティづくりプロジェクト

第3四半期報告書



2015年2月
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

事業名	ホーチミン市における貧困区での 災害に強いコミュニティづくりプロジェクト
対象国・地域	ベトナム ホーチミン市 ニャーベー区、カンザオ区
事業期間	2014年5月1日～2015年4月30日
報告期間	2014年11月1日～2015年1月31日
予算	6,250,000円
受益者	5歳～14歳の子ども2,300名及び5,000名の地域住民
事業目的	学校及びコミュニティの防災知識と気候変動への適応能力を向上し、子どもと地域住民の自然災害への耐久・回復能力を向上させる。

2. 活動進捗

既に個別に報告させて頂いている通り、カンザオ区における活動に対する人民委員会からの事業承認が遅れたために、当四半期においてはカンザオ区の活動を見合わせ、ニャーベー区での活動に注力致しました。2015年2月9日によろしく事業承認が下りたため、カンザオ区における活動については、最終報告書で報告致します。

活動1. 生徒と教師の防災意識向上による安全な学校づくり

1-1. 学校及びコミュニティへの防災ガイドブックやマニュアルの配布

当四半期における活動は特にありません。

1-2. 教員への安全な学校モデル及び救命救急研修の実施

2015年1月、ニャーベー区の Nguyen Van Tao 小学校及び Hiep Phuoc 中学校において、子どもを対象に安全な学校モデル及び救命救急研修を実施しました。この研修では、2014年8月に研修を受けた教員が指導員となり、小学校、中学校の子どもの代表計60名に安全な学校モデルの定義や人工呼吸の方法、ライフベストの装着方法を指導しました。当研修に参加する子どもの選出にあたっては、子ども防災クラブの中から有志を募り、やる気、男女のバランス、年齢を考慮しました。今後、当研修を受けた子どもたちが他のクラブ員に得た知識を伝えていく予定です。

1-3. 教員及び生徒の参加型での安全な学校づくり計画の作成

2015年1月、二度に渡る会合を通じて、Nguyen Van Tao 小学校及び Hiep Phuoc 中学校において安全な学校づくり計画が策定されました。計画作りには生徒90名及び教員30名だけでなく、ニャーベー区教育訓練局の行政官、また子どもの保護者20名が加わり、現在の学校が抱えている災害リスクやその対策とともに、地域の中において学校が防災という枠組みの中で果たすべき役割等（緊急時における地域の避難場所としての役割など）につい

て話し合いが行われました。

1-4. 子ども防災クラブ活動の実施

2014年12月、Nguyen Ban Tao 小学校及び Hiep Phuoc 中学校に合計10の防災子どもクラブが設立されました。これらのクラブでは、月1回放課後に有志の子どもが10名～20名集まり、歌やゲームを通じて防災の知識について学ぶ活動を行っています。1月には上記1-2の研修に参加した子どもが研修で学んだ事を発表する機会を設け、研修に参加していない子どもが安全な学校モデルや救命救急について学ぶことができました。

1-5. 子どもへの着衣水泳教室の実施

Nguyen Ban Tao 小学校及び Hiep Phuoc 中学校において、2014年11月より子どもの着衣水泳教室を開始しました。週に3日間、水泳教室の日を学校カリキュラムの中に設け、1日3回のローテーションを組み、1回20名の子どもが体育教師から様々な泳ぎ方を学んでいます。11月の開始当初は約半数の生徒が泳ぐことができずビート版や浮き袋を使用していましたが、回を重ねるごとに泳ぎが上達した結果、現在はビート版や浮き袋を使用する生徒は1回の教室につき数名程に減っています。

活動2. コミュニティにおける災害対応及び気候変動適応能力強化

2-1. 災害対応能力アセスメント（事前調査）の実施

2014年9月に終了しております。

2-2. 災害に強い作物の試験的導入及び農林業への気候変動影響調査の実施

2014年11月、ヤギ飼育を既に導入し、成功しているティエンザン省を視察するためのスタディーツアーを実施しました。スタディーツアーには11名の各コミュニティの代表が参加し、ティエンザン省の村人と気候変動の影響やヤギ飼育のリスクやメリットなどについての意見交換を行いました。また、2015年1月には最初のヤギ飼育研修が実施され、各コミュニティから計30名の村人が参加しました。ヤギは他の家畜と異なり雑草を食すため餌代がかからず、また病気にも強いことから、研修に参加した村人は飼育の実施意欲を高めていました。

3. 現在の課題および変更点

■カンザオ区における事業承認の遅延による活動の遅れ

既述の通り、人民委員会からの承認が遅れているため、カンザオ区での事業に遅れが生じています。2015年2月に承認がおりたことを受けて、今後、行政官に対する研修をまとめて実施するなど、効率化を図ることで、残り3ヵ月の事業期間内に全ての活動が終了する

よう、努力致します。ただ、万が一活動の繰り越しや資金の未消化が出る場合には、3月以降に改めてご連絡させていただきます。

4. 今後の活動予定

活動1. 生徒と教師の防災意識向上による安全な学校づくり

- ✓ 教員及び子ども参加による安全な学校作り計画の作成（カンザオ区）
- ✓ 子ども防災クラブの立ち上げ（カンザオ区）
- ✓ 子ども防災クラブによる防災キャンペーンの実施（カンザオ区、ニャーベー区）
- ✓ 子どもへの着衣水泳教室の実施（カンザオ区）

活動2. コミュニティにおける災害対応及び気候変動適応能力強化

- ✓ 気候変動に強い農業、家畜等の導入支援：ヤギ飼育モデル事業の実施（カンザオ区）

3. 活動写真



子どもへの救命救急研修の実施。怪我や水に溺れた際の対処の仕方を学んだ



安全な学校作り計画作成の様子。学校周辺の地図を描き、災害時のリスクに関して話し合う



安全な学校づくり計画作りでは子どもも参加し、子どもの目線から見た災害リスクなどについても話し合った



子ども防災クラブの様子。今四半期に10のクラブの立ち上げが行われた



着衣水泳教室の様子。泳ぐことができない生徒は浮き袋やビート版を利用して徐々に水に慣れる



ティエンザン省へのスタディーツアーの様子。ヤギ飼育をしている村人を訪問し、飼育方法について聞き取りを行った

以上